



## 【感電体験装置】

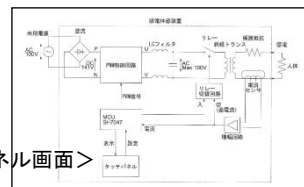
### BYK-4250



- ★簡単な操作で安全に感電出来ます
- ★感電する電流が設定出来ます
- ★感電する時間が設定できます
- ★感電する周波数(50/60Hz)が選択できます

### 【感電事故】

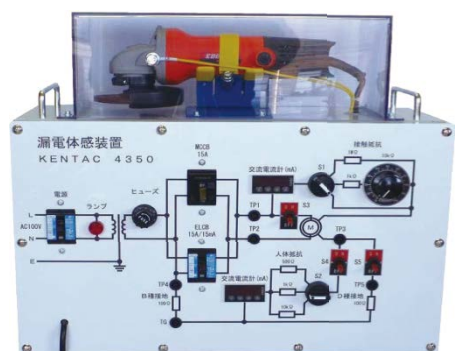
感電死傷事故は平成25年度で120件発生しています。その中でも死亡事故は5件発生しており、感電事故防止には基礎からの教育が必要不可欠といえます。



<ブロック図及びタッチパネル画面>

## 【漏電遮断体験装置】

### BYK-4350



- ★漏電遮断の体験
- ★漏電遮断機の遮断電流の体験
- ★D種接地工事の重要性
- ★漏電時人体に流れる電流の値

### 【漏電の危険性】

- 1) 人体に対する危険  
わずか数10mAの電流が心臓を流れた場合、死に至る危険があります。
- 2) 二次災害事故  
高所作業時に感電して落下事故や、工具等の持ち物の落下で、下で作業をしていた人や建造物に危険を与える影響があります。
- 3) 漏電火災  
火災原因の約10%が漏電による火災と言われています。

## 【電線の短絡・過電流体験装置】

### BYK-4400

- ★電線の短絡を体験することが出来ます。
- ★電線の過電流による温度上昇を可視化します。
- ★細線を使用してのケーブルの焼損を体験できます。
- ★ケーブルドラムの内部温度上昇を体験出来ます。

**【短絡】**電源ラインの短絡事故は、大きな電流が流れるため誤って電路(ケーブル)を工具で切断をした場合は、閃光と共に「バチッ!」という大きな音が鳴り、接触箇所が溶け、穴が開くほどの、大きなエネルギーを持っています。

**【過電流】**想定以上の電流が流れてしまうこと指します。ケーブルに限ってのことですが、過電流の状態が続くと、ケーブルの発熱や被覆が溶けて短絡の原因にもなります。

